

問合先 子育て世代包括支援センター (☎ 71 - 8611)

多胎妊娠、多胎家族同士
オンラインでつながりませんか？



オンライン子育て講座
ツインプルファミリー
(多胎家族応援講座)

開催時間 1/17、2/14、3/21 (日)
1部 午前10時～10時40分
2部 午後1時～1時40分

対象 市内在住の多胎妊婦の方および多胎育児中 (0～3歳年少前まで)のご家族 (各回3組)

料金 無料 (データ通信料は除く)

希望の方はIDとパスコードをお伝えしますので、電話または直接子育て世代包括支援センター窓口へお越しください。



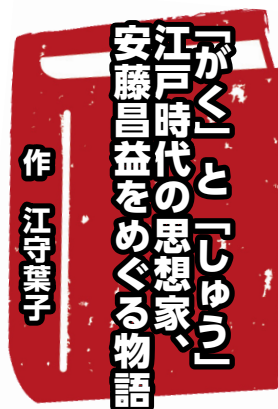
双子だと外出しにくいので、家にいながら、人とのつながりが持て、身近な相談の場所が出来ました。

講座内では、多胎育児経験を持つ保育士から、子育てのコツや楽しい手遊びなどのご紹介、保健師、助産師が相談に応じます。

途中参加、退出もできますのでお気軽にご参加ください。

※オンライン会議システム「Zoom」の利用規約に同意したうえで、ご利用ください。

ブックレビューボタン vol.55 ～私のおすすめの本を紹介～



今回読んだこの本では、江戸時代に実在した思想家の「安藤昌益」を描いた小説にも関わらず、昌益が主人公ではなく、息子の「じゅう」とその友達で農民の「かく」が主人公です。物語では江戸時代の農民の暮らしや、自然と生きることとはどんな事なのか、生き活きと描かれています。読み進める内に、舞台である八戸藩 (現在の青森県八戸市) の様子が目に浮かぶほどです。

昌益は自然と共に生きる事の大切さを説き、貨幣制度や商売等の「人としての経済活動」を批判しています。鉱山で金銀鉄などを取る事が自然を破壊するとして批判していますが、これは当時の江戸幕府の世においては、お上にたてつく危険思想と捉えられてもおかしくないものだったそうです。

現代の日本では、自然と共に生きるということ自体が難しくなっています。高層ビルが立ち並び、



▲肥田 憲和さん

人財教育コンサルタントとして働く人達のキャリア開発を担う「MIZUKAra」代表と共に、小牧市の起業家育成のための「一般社団法人・勇者アカデミー」の理事として、キャリア教育に大きく携わっています。

今回のレビュー



人間の暮らしのために野山を崩し、そこに住む動物たちを追い払う現代社会を、昌益が見たらどう思うのでしょうか。

私は日本人ですが、この安藤昌益を知らずにいました。「自然へ帰れ」を謳ったフランスの哲学者ルソーよりも十年早く、しかも独自にその考えに至った昌益をもっと知っても良いのではないか、その思想を現代でどこまで再現できるのか、と考えながら読んでみて、最後は悲しい思いでした。